

令和7年も遂に半分となりました。私が昨年（令和6年）12月に本格的な勤務を開始してからは7ヶ月が経ちました。ところで、昔、お月様とお日様とお星様が旅をしております、同じ旅籠に泊まったそうです。お星様が寝坊をすると、他の2人は出発（早立ち）した後だったそうです。「ああ、月日がたつのははやいものだ」。

失礼しました。在留邦人の皆様におかれては、ご多忙な日々をお過ごしのことと存じます。6月21日が夏至であり、6月30日は夏越の大祓の日でもありました。この節目に、日本弥栄を改めてお祈りいたしました。

今月の大きな動きは、イスラエル・イランによるミサイル攻撃の応酬と6月21日の米軍による3箇所のイラン核施設の空爆でした。このような大きな事象は、過去数十年あるいは数百年の歴史が結節した時に発生することが多いと思われますが、本件については、在テヘラン米国大使館占拠事件を含むイラン・イスラム革命（1978年）に淵源を發したイランと米国・イスラエルの間の対立の一つの画期であったと言えるかと思えます。「革命」がある「大国」に起こり、それが近隣地域等に伝播していく際に様々な反作用が起こっていくという力学を我々は目にしております。

世界がどのように変動するにせよ、我々日本人は、世界の情勢を曇りなき眼で見据え、我々に影響のある事象に耳をそばだて、主張すべきは主張して日本の利益を確保しなくてはなりません。総領事館もペナンにおいて、日本のためにしっかり働いてまいります。

以下、6月の総領事（館）の主な活動報告をいたします。

ペナン外への出張等については、

6月には、先月の報告で申し上げた通り、私は、ペルリス州（10日及び11日）及びペラ州（12日及び13日）に出張いたしました。10日には、ペルリス・マレーシア大学（UNiMAP）を訪問し、副学長に表敬しました。この訪問のなかで図書館等大学施設を拝見すると共に、副学長や元東方政策留学生の皆様からUNiMAPの概要や日本の大学等との研究協力について伺い、今後の協力について意見交換しました。山梨大学との間で共同学位プログラムのような緊密な関係を有していること、学内に全ての過程を網羅する半導体研究施設を有していることについての説明が特に印象的でした。10日には、また、ペルリス州内に建設中の新たな物流基地であるペルリス・インランド・ポート（PIP）を視察しました。手狭になった既存の物流基地を代替する大型物流基地であり、南部タイ・ペルリス・ペナン・スマトラ（インドネシア）の間の連結性を更に強化するためのプロジェクトです。北部地域経済開発に向けての連邦政府の本気が伺えるプロジェクトでした。11日には、ペルリス州に所在する日本企業2社を訪問し、その現状と課題について勉強させていただきました。ペルリス州政府に働きかけることによって、日本企業の問題解決に協力できればと存じます。



(PIP視察：6月10日)



(UNiMAP表敬：6月10日)

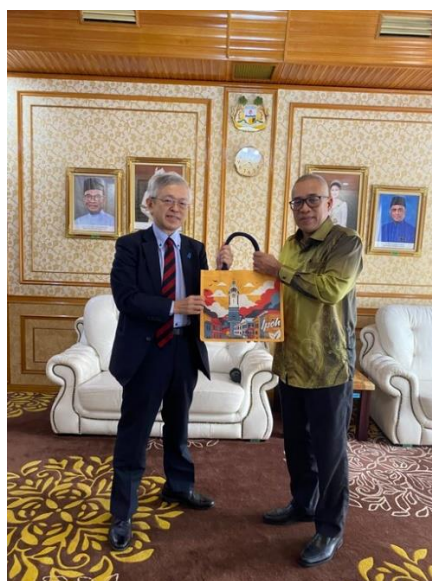
12日には、ペラ州投資局訪問、イポー市長表敬、M I C C I（マレーシア国際商工会議所）ペラ支部訪問、ペラ州首席大臣訪問をこなしました。また、13日は、タイピンの日本企業を訪問し、業務の概要についてお話を伺いました。ペラ州は、在ペナン総領事館管内で2番目に多く日本企業が操業し、邦人の方々が居住されています。今後も、現地関係者との連絡を密にし、日本企業・邦人の皆様が仕事をしやすい・暮らしやすいようにできるよう全力を尽くしたいと思います。

ここには詳しく記しませんが、総領事館員も積極的に管内に出張し、領事、広報文化等の活動をしております。

今後とも、管轄地域を広く訪問することによって、マレーシアを多角的に理解し、今後の業務に繋げていきたいと存じます。



(ペラ州首席大臣表敬：6月12日)



(イポー市長表敬：6月12日)

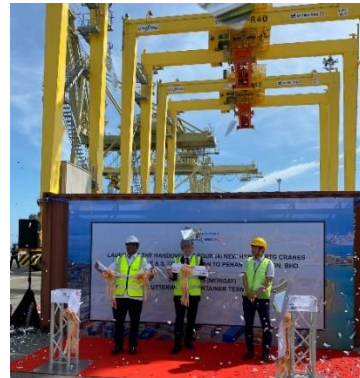
政治・行政・経済面では、

6月3日、当地NGO「ペナン・フォーラム」関係者の表敬を受けました。また、当地名誉総領事との意見交換を行ないました。多面的な当地事情の理解を目指しております。5日、領事団主催の前ペナン州長の送別夕食会に出席しました。元外務次官でもある前州長は当地領事団の活動の促進に大きく貢献してきた人物です。17日は当地領事団関係者との間で当地政治経済事情について意見交換しました。18日は、当地の警察協力団体と意見交換を行ないました。今後、かかる団体から有益な治安情報などが入手できればと思っています。19日、ペナン州政府のH' ng Mooi Lye EXCOが来訪されました。同EXCOからは、9月の大阪関西万博におけるペナン・ウィーク時の訪問先について相談がありました。今後、日本政府関係機関とも連携の上、日本におけるペナンのプロモート強化の為に協力していきたいと思います。20日には、「ペナンにおける持続可能な資源循環型社会の構築に向けた水資源管理支援プロジェクト（JICA草の根支援プロジェクト）」の日本側関係者と懇談しました。ODAから卒業して高所得国に移行しつつあるマレーシアにも、まだ日本の知見を生かしうる余地があることを認識しました。23日には、ペナン港での最新式のハイブリッド・クレーン（三井E&S様製）の引き渡し式に出席しました。前述のPIPを含め、日本企業がこの地域の物流ビジネスに深く関与していることを改めて認識しました。24日及び26日、当地学識経験者と懇談して、当地内政事情について意見交換しました。

25日には、当地領事団主催のチョウ・コン・ヨウ首席大臣との対話夕食会に出席しました。この会合では、日本人社会・日本企業に対するペナン州政府への支援に感謝を述べつつも、より良い環境の整備の必要性等に言及し、州政府の善処を求めました。今回の会合では、水資源管理問題、交通渋滞問題、観光振興問題が特に話題になりました。今後も開催される予定のかかる意見交換会合にも積極的に参加し、主張すべきことは主張したいと思います。今後とも、当地行政機関等と関係を深めてその課題を把握し、それを当地の日本人・日本企業の皆様の役に立てることができればと思っています。



（前州長送別会：6月5日）



（ペナン港ハイブリッド・クレーン引渡式：6月23日）

日本人社会との関係では、

6月5日には、半年に一遍開催されるペナン日本人会のソフトボール大会に出席し、始球式と表彰式に参加しました。以前と比べて規模は小さくなりましたが、少年チームを交えて伝統ある「ペナン・フリー・スクール」のグラウンドに歓声が響きました。お疲れ様でした。上記でも述べました通り、11日にはペルリスにおいて、13日にはペラ州・タイピンにおいて日本企業にお邪魔しました。24日には、ペナン日本人会月例理事会に南野領事・警備対策官と共に出席しました。今後とも、日本人会の魅力向上等の為に尽力してまいります。29日には、ペナン日本人会のゴルフ大会の懇親会に出席し、ご挨拶申し上げます。私自身ゴルフは嗜みませんが、ゴルフを通じて日本人の皆様が交友を深めておられるのは誠に素晴らしいと存じます。

領事事務を始めとした日本人社会へのサービスは総領事館業務の「一丁目一番地」です。当地で精一杯に生きた先輩の皆様思いを馳せ、引き続き、次代の日本を担うお子さま達の健やかな成長を祈るばかりです。7月には参議院議員選挙の在外選挙が行なわれます。皆様の清き一票を日本に届けます。

文化交流・報道・学術交流関係では、

6月4日には、JMTi（日本・マレーシア工科学院）を訪問しました。日本政府／JICAの協力によって設立された学校であり、マレーシアの製造業の発展に資する教育・訓練を行なっています（現在も、JICA専門家が派遣）。日本語教育の充実には当館としてもできる限りの協力をいたします。5日、マレーシア科学大学（USM）副学長に表敬しました。北部マレーシアを代表する総合大学であるUSMとは、既に緊密な関係を有していますが、8月の信州大学とのMOU締結などに、当館としても側面支援してまいります。9日、JCI（青年会議所）タンジョン・ブング支部関係者の来訪を受けました。同支部が8月に予定しているマレーシア青少年の熊本訪問についての相談でしたが、私からは、日本文化のオリエンテーション等のため、JAGAM等関係団体を紹介しました。今後、様々な形で青少年協力を側面支援してまいります。



（USM副学長表敬：6月5日）



（JCI関係者来訪：6月9日）

14日には、ペナン市内での「Malaysia International Miniature Hobby Show」に参加しました。各国のプラモデル・フィギュア愛好家とその作品を持ち寄り、日本を含む各国の熟練のモデラーの皆さんが審査員となるイベントです。プラモデル等はマレーシアにも愛好家が多く、10年も続いているとのこと。観光・創造経済担当EXCOも出席し、クバヤのフィギュアなどを見て盛り上がっていました。14日には、また、ミスよさこい2025の発表式典にも出席しました。2019年から始まったミスよさこいは「よさこいパレード」に華を添えるものです。15日には、同じガーニー・プラザにて、着物の様々な姿を見せる「Beyond Tradition Fashion Show」に出席しました。16日には、USMの研究施設であるCEMACS (Centre for Marine and Coastal Studies)を訪問しました。1970年代に前身の研究施設が設立され、その後、USMの研究施設となった後も、マラッカ海峡や南シナ海の海洋環境研究においてマレーシアでの研究を牽引し、また、我が国を含む研究機関との国際共同研究も盛んです。



(「ミスよさこい」2025：6月14日)



(CEMACS訪問：6月16日)

19日には、「Japan Cultural Festival」(20日～22日)関係者、「よさこいパレード」(21日)関係者との懇談を行ないました。それぞれ、22日及び21日に参加し、来場者3万人と報じられた「よさこいパレード」では審査員をいたしました。この二つのイベントは、当地メディアでも広く報道され、日本文化への強い関心と共感がペナン／マレーシアに根付いていることを改めて確認できました。25日は当地有力紙の編集者と懇談しました。今後とも、日本の良いところを報道してもらうよう、報道関係者とは意思疎通を密にしていきたいと思ひます。



(よさこいパレード：6月21日)



(Japan Cultural Festival：6月22日)

総領事館としては今後とも、日本文化紹介及び日本・マレーシア交流促進のために心を尽くす所存です。今後とも、マレーシアで日本を盛り上げていきましょう！

7月以降も、日本とマレーシア（北部6州）との間をより良く繋ぐことによって、日本人の皆様が安心・安全に、誇りを持って、意義深い生活・活動をされるよう、微力ながらも全力を尽くす所存です。今後とも、ご指導・ご鞭撻をお願いいたします。